電気保安教育資料

埼玉支部共済委員会

回覧印	総括管理者				

＊　必要な部門に回覧をお願いいたします。

項目	説明
タコ足配線 過負荷使用 チェック □	テーブルタップや延長コードには使用できる電流容量が決められています。これを越えると過熱して火災になることもあります。機器に記載されている容量を守って使うようにしましょう。
コンセント・プラグの破損・焼損 チェック □	コンセントが抜けかかっていませんか？抜けかかったままの状態で使用していると接触不良を起こし過熱・火災を起こすことになります。コンセントプラグはしっかり奥まで差し込みましょう。また、使わない機器のコンセントプラグは抜いておきましょう。
コンセントプラグまわりのホコリ チェック □	コンセントプラグのまわりにたまった塵埃に湿気が加わるとそこで火が出ることもあります。これをトラッキング現象といいます。常日頃からコンセントまわりの塵埃は乾拭きで取り除いておきましょう。
コード・ケーブル類のいたみ チェック □	工場内など電線ケーブルに痛みや損傷はありませんか？重たいものに踏まれたりすると外部に損傷が見えなくても芯線が損傷することもあります。そういうものは過熱や漏電を引き起こす可能性があります。改修の際は必ず専門の工事業者に依頼してください。
コード・ケーブル類の束ね チェック □	延長ケーブルを束ねたままで、またドラムコードのケーブルを巻いたまま使用していませんか？使用している負荷によっては過熱・火災につながります。できるだけ延ばして使用しましょう。負荷容量は機器などのラベルや取扱説明書を確認しましょう。
電気機器のアースの取り付け チェック □	水回りの機器にはアースの取付が必要です。アースが必要なものにアースが取り付けられていないと漏電時に感電します。水回りの機器や工場内の動力機器のアースはしっかり確認しておきましょう。
照明器具 チェック □	照明器具は普段清掃をしないため汚れがたまります。電球や反射板を拭くとかなり明るくなります。高所での作業には充分注意して下さい。最近ではLED照明が長寿命・省電力のため注目されています。
キュービクルまわり 分電盤まわり チェック □	キュービクル付近はなにかと荷物を置かれがちです。電気事故時や火災など緊急時に作業が出来なくなります。キュービクル付近のスペースは必要なものなのです。扉の開閉・作業の妨げになるものは移動させましょう。